



No. 219

平成26年8月19日
編集: 区議会だより編集委員会
発行: 千代田区議会
〒102 - 8688 千代田区九段南1-2-1
☎ 3264-2111 内線3315
ファクシミリ 3288-5920

第2回 定例区議会



平成26年度 環境啓発ポスター展 代表作品



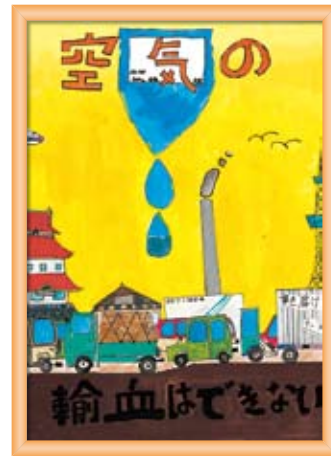
麹町小学校4年 朱島 響子さん



九段小学校6年 武居 惇生さん



番町小学校5年 西出 芽以さん



千代田小学校6年 渡龍大さん



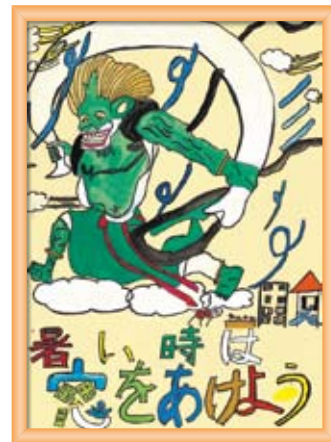
富士見小学校5年 村田 果音さん



お茶の水小学校5年 鳥居 真千香さん



昌平小学校5年 日高 真央さん



和泉小学校5年 杉原梨心さん

トップニュース

Top News

補正予算(都市型軽費老人ホーム整備補助)・特別区税条例改正等可決!

■平成26年度一般会計補正予算第1号

補正前の額471億6,932万6,000円に、3,312万円の予算額が追加されました。

■特別区税条例の一部を改正する条例

「地方税法等の一部を改正する法律」の公布に伴い、軽自動車税の税率を改定するとともに、優良住宅地の造成等のために土地等を譲渡した場合の区民税の課税の特例等の適用期限を延長したほか、規定を整備しました。



主な内容

- 代表質問 2～3面
- 一般質問 4～5面
- 定例区議会活動報告等 6～9面
- 議案の審議結果等 10面

提案された議案等

◆区長提出議案等

- ・条例 3件
- ・予算 1件
- ・人事・契約等 7件
- ・報告 2件

◆議員提出議案

- ・意見書 1件

◆常任委員会中間報告 1件



●ホームページアドレス

<http://kugikai.city.chiyoda.tokyo.jp>

●メールアドレス

kugikai@city.chiyoda.lg.jp

*この区議会だよりは、区議会ホームページでもご覧になれます。区議会ホームページでは、「区議会日程」や「キッズページ」等を掲載しています。また、区議会の最新情報をお届けする「メールマガジン」も発行していますので、どうぞご利用ください。



平成26年第3回定例区議会は、
9月17日(予定)から開会します。

平成26年第2回定例区議会

代表質問 (要旨)



※全文は、区議会ホームページでご覧になれます。

自由民主党議員団

鳥海 隆弘

東京オリンピックについて

問 オリンピック開催に向けた計画の基本的な考え方について。

答 2つの視点を基本とする①区が持つ都心の魅力や歴史・文化を区民が再認識し、高めていく②区に住み、働き、集う全ての人々が、安心・快適に過ごせるよう、バリアフリー化等環境整備を進めていく。

第3次住宅基本計画について

問 第3次住宅基本計画の策定作業の進捗状況は。

答 区民や有識者・関係団体で構成する住宅基本計画改定検討会議を立ち上げ、専門的知見や客観的意見を採用入れ検討を進めている。

介護保険事業計画について

問 ①今回改正される介護保険事業計画と既存計画との相違点は②保険利用者一律1割負担から一定所得以上の者に2割負担を求めることについて③区独自の保険料抑制策の継続について。

答 ①今後の介護保険制度の改正にも適切な対応が求められている点と団塊の世代が75歳以上となる2025年までの保険料の水準等を推計する点②一定以上の所得者の負担引き上げはやむを得ないものと認識している③これまでどおり、さまざまな抑制策を検討していく。



新しい千代田

林 則行

電線類の地中化の整備計画

問 幅員11m以上の区道の無電柱化未整備1.6kmを整備対象重点区間にすべき。区道の電柱は何本埋設できるのか。

答 改定する千代田区基本計画への反映も検討。区道の電柱等は約3,100本。無電中化できるのは約600本。残る電柱2,500本は技術的検討をしていく。

指定管理者制度の成果と課題

問 指定管理者が更新時に新規事業者に変更するケースを想定しているか。指定管理者更新継続の利点と問題点は。

答 経営状況等に重大な問題や事情がある場合等。施設利用者との信頼関係や蓄積したノウハウが利点。運営事業者がマンネリ化する可能性が問題点。

保育所整備と私立保育所の基準

問 麹町地区の保育需要は、平成28年に212人の保育需要が増加する。麹町保育園が一番町新園舎に戻る際、三番町仮園舎を引き続き保育所として活用すべき。保育の質を担保するため、5階以上や地下等の私立保育所等には補助を不交付とする基準を設けるべき。

答 仮園舎は保育機能として利用できるように早急に答えを出す。一番町と三番町が同時開設できるよう作業する。私立保育所等には、「千代田区保育所の運営・選定に関する基準」を定める。

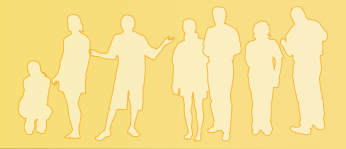


麹町保育園仮園舎



平成26年第2回定例区議会

代表質問 (要旨)



※全文は、区議会ホームページでご覧になれます。

日本共産党区議団

飯島 和子

介護のサービスと負担について

問 ①区の事業となる要支援者へのサービスは、後退等がないよう区独自基準が必要では②あんしんセンターの拡充を軸に、初期認知症の方への支援体制づくりを求める③第6期介護保険事業計画で保険料軽減はどう具体化されるのか④利用料2割負担になる想定人数と、その軽減策は⑤要介護2以下でも実情に応じて特養ホーム入居を可能に⑥特養ホーム待機者ゼロに向けて施設整備を具体化すべき、等。

答 ①予算等を通じて明らかにする②状況に応じた体制づくりに努める③抑制策を検討する中で所得段階設定も具体化する④550人程度。軽減策は考えていない⑤必要度の高い順に入所できるよう判定基準の改善等に努める⑥介護保険事業計画等改定の中で示す。

保育の願いに応えるために

問 ①待機児対策として、年度初めから0歳以外を定員オーバーにしている実態は改善すべき。定員以下でスタートし、定員弾力化をしなくても希望の保育園に入れるよう保育需要数を満たす計画策定を求める②のびのび遊べるスペースが民間保育所にはない。幼稚園の設置基準である園庭と屋内ホールは長時間過ごす保育所に不可欠では。

答 ①弾力化していない数字を基に検討している②公園等の地域資源の活用等により支援している。



公明党議員団

大串 ひろやす

都市政策の大きな転換について

問 少子高齢社会に入り、また、3.11大震災を受け、都市のあり方は大きく変わった。都市政策も大きな転換期を迎えた。都市の拡大と機能を優先とするものから人の幸せと尊厳を優先する政策への転換だ。①今後の都市政策の基本的考え方は②都市計画マスタープランの達成状況は。千代田区の都市としての現況と課題は③地域包括ケアと住宅整備について④借上型区民住宅の今後について基本的考え方は。

答 ①政策転換が必要と認識している。今後も超高齢社会を見据えたまちづくりに取り組んでいく②地域ごとの将来像は区の全面積の6割強が定まっている。災害への備え、都市インフラの保全改修、多様な価値観等に対応した住環境整備が必要と認識③地域包括ケアシステムの実現に向けた住環境づくりのあり方を模索する④入居者や所有者の実態を分析し方向性を出していく。

コミュニティの強化策について

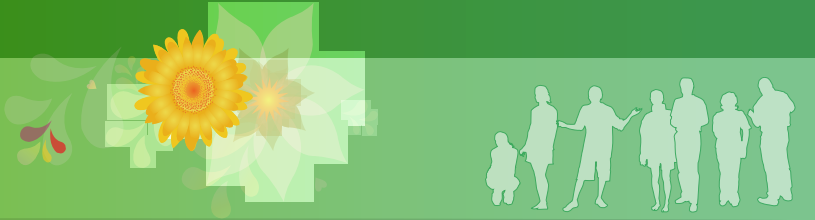
問 社会福祉協議会等やまちみらい千代田等を、行政と地域との間に入り中立的な立場からコミュニティの支援を行う中間支援組織として位置付けては。

答 十分ではないが、中間支援組織的な役割を果たしていると認識。現在、コミュニティ施策の一元的推進について議論し、地域のさまざまな活動主体が自立して活動できるよう支援する。



平成26年第2回定例区議会

一般質問 (要旨)



※全文は、区議会ホームページでご覧になれます。

中村 つねお (ネット)

新しいコミュニティ観が必要

問 千代田区民の8割以上がマンション等に居住している。独自の世界観を有していて、従来のコミュニティ論で括ることができない。行政は実態に合わせた新しい考え方を導入すべきだと考える。まず、次の点を検討してほしい①役所や地域とのパイプ役として、職員出身のコンシェルジュを高層マンションに配置する②各出張所に、マンション居住者向けのコンシェルジュを配置する③マンション居住者に対し出張所の会議室利用等優遇策を講じる。

答 従来のコミュニティの手法では、既に限界がある。どうすれば良いか検討する場を作りたい。提案については有効な方策になり得ると考える。各マンションの実態を踏まえたうえでの支援策が打ち出せるように、検討していきたい。

内田 直之 (自民)

スポーツ推進の環境づくり

問 ①ボール遊び等の場の提供を行う子どもの遊び場事業を、小学校の学区単位、週2回実施に拡充しては②児童遊園をスポーツ機能に特化し、有効利用しては③区有・国有の区内未利用地を暫定利用の条件の下、スポーツの場として有効利用しては④小川広場フットサルコート的人工芝化について。

答 ①各学区に配置することが理想と認識している。また、週2回の開催に努めていく②難しい問題であるが、実現のための手段を考える③諸問題をクリアし、順次進める④早急に実態把握と必要な措置を講じる。



永田 壮一 (自民)

消費生活支援について

問 ①消費増税による消費意欲低迷を防ぐ方策は②スタンプカード事業の来年度以降の実施方法は③民間のポイントカード等の導入は可能か④商店街等にインセンティブを与え、更に努力してもらえる振興策が必要では。

答 ①②来年度までの2年間限定で、カード事業の対象範囲拡大等を実施③研究していく④支援事業の改善を図る。

薬物乱用防止について

問 ①啓発活動以外の取り組みは②脱法薬物等を区条例で規制できないか③中高年への対策は④保健所の相談体制は。

答 ①有機溶剤は区が監視・指導②研究していく③関係機関と連携し、普及啓発に努める④保健師が対応。必要に応じて「心の相談室」の利用等。

高澤 秀行 (千代田)

まちづくりの将来像について

問 ①まちづくりは、総合的、計画的に行われるべきである。本区のまちづくりの将来像について、行政はどのように描いているのか②流入人口によって、人口は増加するといわれているが、地域性やコミュニティを守るためにも、人口流出防止に今以上に力を入れる政策の展開が必要なのではないか。

答 ①異なる価値観を互いに尊重しながら、人と人とのつながりをさまざまな機会で実感できるまちを形成していきたい②管理組合によるマンションの適正な維持管理や、共同住宅の形態の多様化を求めることによるマンション内コミュニティの形成に資する取り組み等を通じて、「住みたいまち」「住み続けたいまち」にすること等により、人口流出防止にも努める。

河合 良郎 (千代田)

自治体公会計の整備について

問 ①公会計制度は財政状況を区民に伝える有効な手段であるが、これまで区が作成してきた財務諸表の成果と課題は②国が進める統一的会計基準の取り組みは③職員のスキル向上、事務負担等の配慮は④資産更新問題の解決策は。

答 ①区民には広報等を通して十分説明してきたが、公共施設マネジメントや自治体間比較に課題がある②統一基準に則した新会計方式導入を図る③事務負担を勘案し継続的な人材育成を図る④施設別財務諸表等を活用していく。

自転車保険について

問 自転車利用者に対し、保険加入の必要性を啓発すべき。

答 区広報紙や安全運転講習会等の機会を捉え、積極的に意識啓発していく。

うさみ 正記 (行革フ)

次世代育成手当の支給対象

問 次世代育成手当は、開始から8年が経過し、再考時期が来たのではないかと。また、再考にあたっては所得分布の解析が必要であると考えます。

答 現時点では、制度改正、解析については考えていない。今後、必要と判断した場合には施策の見直しを図る。

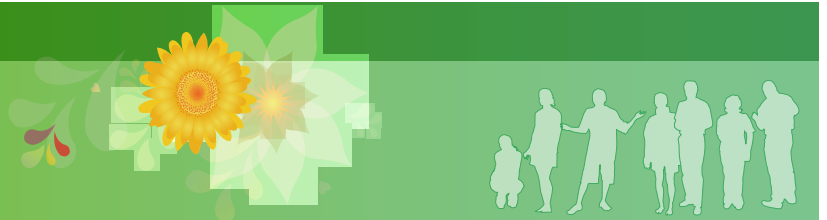
HPにマイページ導入を

問 民間ショッピングサイトにあるような「マイページ」機能を区ホームページに設ければ、自分の住民情報の登録確認や行政から関連性のある情報提供が可能となる。

答 セキュリティ問題やシステム改修に相当の経費がかかるため、現時点での導入は考えていない。今後、利用者等の意見を聞きながら改善に取り組む。

平成26年第2回定例区議会

一般質問 (要旨)



※全文は、区議会ホームページでご覧になれます。

寺沢 文子 (声)

「富山型デイサービス」の導入

問 ①医療・介護法改正に伴い、区では独自サービスの提供を必要とする対象者をどのように想定し、準備しているのか②「富山型デイサービス」とは、高齢者も障がい者も子どもも区別することなく、誰でも一緒に同じ場所で過ごす福祉サービスであるが、導入に向けて検討してはどうか。

答 ①対象者の想定については、現行の要支援認定者と、介護予防事業対象者の抽出に使用するリストを基に作業を行っている。サービスを提供する事業者については、近隣区も含め広く確保に努めるとともに、ボランティア等の活用も必要と考えている②全国的に認められている事業と認識している。区内で本サービス実施を希望する事業者が現れることを期待する。

はやお 恭一 (千代田)

在宅療養に向けての取り組み

問 在宅療養の推進整備にあたり以下を問う①医療機関や医療職等の充足率及び区民意識②担当部署名及び推進協議会での検討課題③チーム医療を担う人材確保・育成のための教育研修制度。

答 ①施設入所希望者は全体の1割、在宅療養が増加見込。介護者等の不足を予測②担当は地域保健課と在宅支援課。実態把握や在宅療養ネットワーク推進を検討③専門人材の役割は大きく、人材育成研修等の必要性は高い。

在宅療養と施設介護の方向性

問 ①巡回型訪問、施設型サービスの方向性②在宅療養推進のための財政計画上の検討状況、以上について問う。

答 ①双方のバランスが重要②長期計画と並行して3年ごとの見直しを実施。

岩佐 りょう子 (民主)

2020年以降を見据えたまちづくり

問 ①歴史的建築物保存と開発の両立への考えは②まちみらい千代田を活用し、歴史的建造物の保存支援が可能では③九段会館に対する区の対応は。

答 ①所有者と協議し、開発と保存活用の両立に努める②対象建築物が多く、十分な経費負担は困難③国が所有者に定まったことから協議していく。

出産・不妊治療助成について

問 妊娠時の①超音波検査の受診助成の拡充について②子宮頸がん検査、HIV抗体検査の妊婦枠の確保や情報提供をしては③特定不妊治療支援として、低利融資制度を導入しては。また、対象者を事実婚夫婦等へも拡大しては。

答 ①今後検討②関係機関に協議を働きかける③国や都の動向も注視し検討。

木村 正明 (共産)

住宅相談窓口で住宅弱者支援を

問 不動産業者と協力し、高齢者の入居を支援する相談窓口を創設しては。

答 住宅関連事業者等との連携による、「居住支援協議会」の設置に取り組む。

騒音・振動・風害対策の強化を

問 ①区独自に解体工事等の「騒音・振動対策の技術的指針」を作成しては②解体工事の説明会と詳細な報告を行うよう改善すべき③解体工事の紛争時に、区が調整役として技術的支援等もできるようにすべき④高層ビル開発事業者にビル風対策をとるよう指導すべき。

答 ①地域の実情に応じ対応するよう指導②親身に説明するよう指導し、説明経過等の報告書提出を義務付けている③工期が短い場合調停等はなじまない④植樹等による対策は継続的に指導。



平成26年第2回定例区議会

定例区議会活動報告 Activity Report

常任委員会

常任委員会では、区長提出議案10件を審査しました。
議案の審査結果をご紹介します。
なお、審議結果は10ページをご覧ください。



企画総務委員会

議案7件のうち、主な議案の審査経過は以下のとおりです。

「(仮称) 区営東松下町住宅新築工事請負契約について」
「(仮称) 区営東松下町住宅新築給排水・空調設備工事請負契約について」
「(仮称) 区営東松下町住宅新築電気設備工事請負契約について」の3議案は、(仮称)区営東松下町住宅工事施行による工事請負契約を締結するため、議会の議決に付すものです。

〈審査経過〉

入札にあたっては、震災復興等多方面での工事発注件数の増加や、建設事業従事者の不足等が起因しているため、入札参加者が少なかったと思われることや、契約3件の落札合計額は予定価格より約4億2,000万円低く、特に電気設備工事は、落札率77.5%であったことが明らかになりました。

「特別区道千588号（一八通り）電線類地中化事業の委託に関する平成26年度及び平成27年度協定の締結について」は、電線共同溝整備工事の施行を内容とする委託協定を締結するものです。協定金額は、2億4,829万697円で、相手先は公益財団法人東京都道路整備保全公社です。

〈審査経過〉

区では今回初めて本業務の委託を行いました。落札した公社は道路整備全般に精通しており、施工監理の他に、企業者間調整や施工の見直し等の作業等時間を費やす業務を円滑に進めることができます。また、こうした業務を通じて職員の育成に期待できる面もあることが明らかになりました。

「帰宅困難者受入協定用物資（携帯トイレ等）の購入について」「帰宅困難者受入協定用物資（食品）の購入について」の2議案は、帰宅困難者受入協定施設用物資を購入するため、議会の議決に付すものです。

〈審査経過〉

各物資の納入期限が約半年先であるのは、受入協定を締結している民間施設や大学の都合に合わせた納品で、施設により納品日が異なることから、最終納品が12月になることが明らかになりました。

その他、「千代田区立児童遊園条例の一部を改正する条例」の議案審査を行いました。

生活福祉委員会

議案2件の審査経過は以下のとおりです。

「平成26年度千代田区一般会計補正予算第1号」は、「都市型軽費老人ホーム整備事業助成」にかかる予算3,312万円を追加するものです。この老人ホームは本年11月に着工し、平成27年12月に開設を予定しています。

〈審査経過〉

質疑の中で①整備費は、国及び都支出金を財源とする間接補助のため、区の一般財源の投入が無いこと②運営費の補助は東京都が直接事業者に助成すること③この都市型軽費老人ホームは本区として初めての施設のため、区が関与する入所指針の策定にあたっては、委員会に報告しながら決定していくこと④運営事業者の指導監督等も区が責任をもって進めていくこと等が明らかになりました。

「千代田区特別区税条例の一部を改正する条例」は、「地方税法等の一部を改正する法律」の公布に伴い、軽自動車税の税率を改定するとともに、肉用牛の売却や優良住宅地造成等のための土地等譲渡について、課税の特例措置の適用期限を3年間延長するほか、規定を整備するものです。

軽自動車税は、四輪の自家用乗用車で平成27年度以降に新規取得する車は「年額7,200円」を「10,800円」に、排気量50cc以下の原動機付自転車は来年度から「年額1,000円」を「2,000円」等とします。

〈審査経過〉

質疑の中で、今回の軽自動車税の引き上げについて、排気量50cc以下の原動機付自転車は、納税に要する人件費やシステム関係の経費が、納税額以上になっている自治体が多くあるため、2倍の2,000円となったことや、環境への配慮から、新規検査から13年を経過した三輪以上の軽自動車には、平成28年度から税率を高くすること等が国等の検討会で考慮され、法律改正となったことが明らかになりました。



平成26年第2回定例区議会

定例区議会活動報告 Activity Report

常任委員会



環境文教委員会

「千代田区立学校施設使用条例の一部を改正する条例」は、神田一橋中学校の改修整備に伴い、同校の施設使用料を改めるほか、規定を整備するものです。施行期日は、教育委員会規則で定める日からとします。

〈審査経過〉

質疑の中で、区民自主サークル団体は一般団体と区別して、使用料の減免措置や、事前受付優遇措置等を実施していること。町会についても同様の取り扱いをすることで、区民が利用する際の負担軽減及び利便性に配慮していることを確認しました。

また、今回の改修で、地下1階に多目的ホールと和室を整備し、貸し出しの対象とすること。和室については、二部屋に分割して貸し出せることを確認しました。

更に、経過措置を設け、使用料改定後の施設使用についての申し込み等の手続きは、施行日前に行うことができること、使用区分等の詳細については規則に定めることが明らかになりました。



特別委員会



公共施設整備特別委員会

公有財産白書がまとまり、今後、計画的な機能更新の基礎資料として活用するとともに、現状の見える化を図ることで課題に対する議論や検討が可能になるとの報告がありました。スポーツセンターについては、有識者を含めた組織を設置し、機能等について検討するとの答弁がありました。委員会では今後、スポーツセンター、特別養護老人ホーム、介護老人保健施設を柱に調査を進めていくことを確認しました。

駅及び駅周辺環境整備特別委員会

「飯田橋駅及び駅周辺のまちづくり」では、駅周辺の開発動向や、ホームの安全対策を検討するための第三者有識者委員会を設置することについて報告がありました。

また、「御茶ノ水駅及び駅周辺のまちづくり」では、周辺道路の整備状況や駅のバリアフリー化工事について、「神田駅及び駅周辺のまちづくり」では、駅周辺の道路整備状況やJR東北縦貫線の進捗について報告がありました。

商工観光施策特別委員会

委員会では「平成26年度千代田区納涼の夕べ」の報告を受けた後、勉強会として実施した「神田川クルージング・舟運調査」について、河川から見た景観や親水空間及び防災船着場の活用等に関する意見交換を行いました。その中で、委員からは、首都高速道路撤去や水質改善の重要性の指摘や、当面の取り組みとしてナイトクルーズやプロジェクションマッピングの活用及び観光協会との連携等の意見がありました。

オリンピック・パラリンピック対策特別委員会

執行機関から、大会開催に向けての各区・団体の組織体制等について報告がありました。また、委員会での具体的な調査項目について議論しましたが、項目が多岐にわたることから、今後は優先的に取り組むべき課題を整理していくことが確認されました。また、議論の中で、特に内濠・外濠の景観や観光関連、スポーツセンターの改築等が取り上げられ、当委員会では所管委員会へ情報提供することにしました。



千代田図書館の展示「としょかんのこしょてん」



企画総務委員会中間報告(要旨)

議員定数については、議会の役割、運営のあり方等、議会の機能をどう高めていくかという中身論から論じるべきである。委員会での調査・議論、講師を招いての議員研修会を行う中で、自治体議会の議員定数は、多様な民意を行政に届ける役割の重要性和、首長に対するチェック機能を発揮する点で考えた場合に一定の人数は必要である。その中で、学識経験者等の研究では、委員会中心主義を取っている議会にあっては、委員数は最低8人ぐらいで、それに委員会数を掛けた人数が議員定数として適当であるとの見解があること。この数字がオーソライズされた一定の数字であるだろうと当委員会の中では認識されました。しかし、今後は委員会での議論だけでなく、全議員で議論する必要があると、また、区民の声も聞く必要があるとの意見もあり、新たに議論する場を設置していただくよう議長へ申し入れすることを確認しました。



本会議における討論(要旨)

今定例区議会では、次の2件の議案を採決するにあたり、討論がありました。その要旨をご紹介します。

1. 千代田区特別区税条例の一部を改正する条例【反対の意見】

軽自動車複数台保有する世帯も少なくない。軽自動車税引き上げは、消費税増税と同様の庶民増税であり、逆進性の高い税体系と言える。以上の理由により反対する。(飯島)

2. 集団的自衛権行使容認を柱とした解釈改憲の「閣議決定」に抗議し、撤回を求める意見書【反対の意見】

従前の政府解釈との論理的整合性、憲法の安定性と規範性は保たれ解釈改憲ではない。また、武力行使要件を「明白な危険」とし極めて限定された。よって反対する。(大串)

①国民の命と平和な暮らしを脅かす脅威に対する万全な備えが不可欠②必要最小限の実力を行使するものであり、その結果、戦争を抑止することになる点から反対する。(戸張)

【賛成の意見】

明らかに憲法違反であり、国のあり方を180度改悪し、他国の戦争に加担することになる閣議決定は、一刻も早く撤回すべきであり、賛成する。(寺沢)

立憲主義を根底から否定する歴史的暴挙で、三権分立や行政のコントロールに照らしても許されるものではない。憲法第9条と立憲主義を守り抜く決意を表明し賛成する。(木村)

メールマガジンを申し込んでみませんか！

区議会では、議会の最新情報をお届けする「区議会メールマガジン」を発行しています。お申し込みは、区議会ホームページの「メールマガジンをお届けします」のコーナーから、メールアドレスをご登録ください。



「メールマガジン」をクリック



「メールアドレス」を半角で入力し「送信する」をクリック

本会議のインターネット中継を開始しました

千代田区議会では、平成26年第1回定例区議会より、本会議のインターネット中継を開始しました。傍聴に来ることができない方も、ご自宅のパソコン等で、本会議のライブ中継及び録画映像をご覧くださいことができます。詳しくは、「インターネット中継ページ」をご覧ください。
<http://www.kensakusystem.jp/chiyoda-vod/index.html>



平成26年第2回定例区議会 会期日程 〈会期16日間〉

月／日	本会議・委員会関係日程	月／日	本会議・委員会関係日程
6／19	議会運営委員会	7／2	企画総務委員会
	本会議（会期の決定・区長招集あいさつ等）		生活福祉委員会
20	議会運営委員会		環境文教委員会
25	議会運営委員会	3	議会運営委員会
	本会議（代表質問・一般質問）	4	議会運営委員会
26	議会運営委員会		本会議（議案の議決等）
	本会議（一般質問・議案の付託等）		
27	企画総務委員会		
	生活福祉委員会		
	環境文教委員会		
30	駅及び駅周辺環境整備特別委員会		
	商工観光施策特別委員会		
	オリンピック・パラリンピック対策特別委員会		
7／1	議会運営委員会		
	公共施設整備特別委員会		

委員会に送付した陳情（平成26年3月20日～平成26年7月4日）

陳 情 名	送付委員会 （ ）は参考送付
千代田区内で行われる花見や祭りでのゴミの清掃の強化を求める陳情	企画総務委員会
神田冠称反対陳情と新たに住民や企業・在勤者にアンケート調査実施を求める陳情書	生活福祉委員会
神田冠称に関する「猿楽町・三崎町」住民と企業への意向調査を希望する陳情書	生活福祉委員会
地元区民の意見を重視反映して神田冠称を判断して欲しい神田冠称に反対する陳情書	生活福祉委員会
医療介護総合法案による介護保険制度の見直しを行わないよう意見書提出を求める陳情	(生活福祉委員会)
隣地建物の解体工事及び建設工事から子供たちを守る件	環境文教委員会
「猿楽町・三崎町」の住居表示の正当な歴史の調査依頼の陳情書	生活福祉委員会
神田冠称に関して地域の合意が整っていない状態での町名変更に対する反対の陳情書	生活福祉委員会
猿楽町・三崎町の神田冠称について公正公平判断を求める陳情書	生活福祉委員会
衆議院宿舎跡地の活用について	環境文教委員会
議場における国旗・区旗の掲揚を求める陳情について	議会運営委員会

3月～6月の主な活動

月／日	日程	月／日	日程
3／24	政務活動費交付額等審査会	5／23	議会運営委員会
25	議会運営委員会		商工観光施策特別委員会
27	商工観光施策特別委員会		オリンピック・パラリンピック対策特別委員会
4／24	オリンピック・パラリンピック対策特別委員会	6／4	企画総務委員会
25	議会運営委員会	9	商工観光施策特別委員会
	商工観光施策特別委員会		商工観光施策特別委員会国内行政調査
	区民集会運営協議会		【神田川クルーズ・舟運調査・日本橋船着場他】
5／14	政務活動費交付額等審査会	10	生活福祉委員会
16	企画総務委員会	11	環境文教委員会
	生活福祉委員会	12	〈平成 26 年第 2 回千代田区議会定例会告示日〉
22	環境文教委員会		議会運営委員会
		オリンピック・パラリンピック対策特別委員会	
		18	議会運営委員会

議案の審議結果等（平成26年第2回定例区議会）																可…可決/否…否決/○…賛成/×…反対 欠…欠席/退…退席/除…除斥																	
議 員 名 等 議 案 名 等		出席者数	投票数	賛成	反対	議決結果	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	議決月日	
							うさみ 正記 革ク	林 則行 代田	河 合良 郎代 田田	は やお 恭一 代田	高 澤秀 行千 代田	安 岡けん じ行 革ク	永 田壮一 自民	内 田直之 自民	嶋 崎秀彦 自民	小 林たか や声	寺 沢文子 声	岩 佐りよう 子民主	欠 員	大 串ひろ やす公明	山 田なが ひで公明	小 林やす お自民	松 本佳子 自民	桜 井ただし 自民	飯 島和子共 産産	木 村正明共 産産	中 村つねお ネッ ト	高 山はじめ 自民	戸 張孝次郎 自民	鳥 海隆弘 自民	石 渡伸幸 自民		
議員 提出議案	集团的自衛権行使容認を柱とした解釈改憲の「閣議決定」に抗議し、撤回を求める意見書	23	22	6	16	否	退	×	×	×	×	○	×	×		○	○	○		×	×	×	×	○	○	×	×	×	×	×	×	7/4	
区長 提出議案	平成26年度千代田区一般会計補正予算第1号	24	23	23	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	7/4	
	千代田区特別区税条例の一部を改正する条例	24	23	20	3	可	○	○	○	○	○	○	○	○	長	○	○	○		○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	7/4	
	千代田区立児童遊園条例の一部を改正する条例	24	23	23	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	は	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	7/4	
	千代田区立学校施設使用条例の一部を改正する条例	24	23	22	1	可	○	○	○	○	○	○	○	○	採	○	○	○		○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	7/4	
	(仮称)区営東松下町住宅新築工事請負契約について	24	23	23	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	決	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	7/4	
	(仮称)区営東松下町住宅新築給排水・空調設備工事請負契約について	24	23	23	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	に	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	7/4
	(仮称)区営東松下町住宅新築電気設備工事請負契約について	24	23	23	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	わ	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	7/4
	特別区道千第588号（一八通り）電線類地中化事業の委託に関する平成26年度及び平成27年度協定の締結について	24	23	23	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	り	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	7/4
	千代田区監査委員の選任の同意について	24	23	23	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	ま	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	6/19
	帰宅困難者受入協定用物資（携帯トイレ等）の購入について	24	23	23	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	ん	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	7/4
	帰宅困難者受入協定用物資（食品）の購入について	24	23	23	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	7/4	
報告	平成25年度千代田区一般会計予算の繰越明許費に係る歳出予算の繰越しについて																														6/26		
	損害賠償請求事件に関し専決処分により和解した件について																														6/26		

◆ 千代田区議会議員 条約定数25名 現員数24名 欠員1名



牛ヶ淵

■ 区民集会の開催について

区民集会は、地域の抱える諸課題に対して、区民と区議会が一体となって議論する場として、開催しています。

昨年度から2カ年計画で、災害と地域コミュニティについて、その課題と対策に取り組んでおり、今回は、「マンションと地域コミュニティ」をテーマとして、第一部・講演会、第二部・パネルディスカッションを行う予定です。

◆日 時 平成26年11月18日(火) 午後6時30分～

◆会 場 共立講堂（千代田区一ツ橋 2-2-1）

◆主 催 区民集会運営協議会

◆申込み 当日直接会場へお越しください。